

《履修上の留意事項》2020年度開講なし

《担当者名》○近藤里美 浅野雅子

【概 要】

「音楽療法」で学んだことを基礎に、様々な医療・福祉領域での音楽の療法的役割について学習する。

同時に現在の音楽療法の位置づけを踏まえ、作業療法と音楽療法との関係、リハビリテーションへの活用法を理解し、身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害の各領域において音楽療法がどのように用いられているのか実践例を通して学ぶ。

【学習目標】

「音楽療法」で学んだことをふまえ、各領域における音楽を活用した実践的能力を身につけるための知識と技術を学ぶ。

1. 子ども、成人、高齢者領域での音楽の療法的役割について説明できる。
2. 作業療法に活用可能な療法的音楽技術を習得する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の流れや評価の説明	近藤里美
2	子どもの発達と音楽療法	障がい児領域の音楽療法	近藤里美
3	身体障害と音楽療法	神経学的音楽療法	近藤里美
4	成人と音楽療法1	メンタルヘルスと音楽療法①	浅野雅子
5	成人と音楽療法2	メンタルヘルスと音楽療法②	浅野雅子
6	高齢者と音楽療法1	高齢者領域の音楽療法	近藤里美
7	高齢者と音楽療法2	介護予防と音楽療法	近藤里美
8	まとめ	医療・福祉領域の音楽療法のまとめ	近藤里美

【評価方法】

平常点50%、リアクションペーパー50%

【備 考】

教科書 : 講義時に資料を配布する

参考書 : 佐藤正之「音楽療法はどれだけ有効か」化学同人 2017年

ロバード・アンケファー 編 「成人精神疾患の治療における音楽療法」一麦出版社 2015年

スティーヴン・マロック 編 「絆の音楽性：つながりの基盤を求めて」音楽之友社 2018年

山根寛 編 「ひとと音・音楽：療法として音楽を使う」青海社 2007年

【学習の準備】

「音楽療法」で学習した内容を整理し、講義で提示した参考論文や図書館にある関連図書を読んでおく。

そのために事前学習と事後学習にそれぞれ80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4) リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士、音楽療法士）、近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関及び介護保険施設での実務経験を活かし、担当の講義を行う。